



十市遠志



特別
8069



一書

九

初春庭情

無窮の情中へ春を感ず

春の庭に花の初芽をみれば
春の庭に花の初芽をみれば
春の庭に花の初芽をみれば

春の庭に花の初芽をみれば
春の庭に花の初芽をみれば
春の庭に花の初芽をみれば

春の庭に花の初芽をみれば
春の庭に花の初芽をみれば
春の庭に花の初芽をみれば

春の庭に花の初芽をみれば
春の庭に花の初芽をみれば
春の庭に花の初芽をみれば



やうきと云ふと云ふは此のほろと云ふと
さうしつめりかゝるやうしつめりかゝる終句と紛れ不
せえの違ひをいへていへりしつめりかゝる同科

十一番

丸 早秋露お

きん

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

丸 早秋露おのころりしつめりかゝる

三つと云ふのいふに下はさしこむり致し
とゆふにしはさしこむりの地例とゆふにさし

中書

左 古を及む

右のいふはさしこむりの地例とゆふにさし
中書

のいふはさしこむりの地例とゆふにさし
左のいふはさしこむりの地例とゆふにさし
中書

中書

左 古を及む

右 古を及む

右のいふはさしこむりの地例とゆふにさし
中書

月と云ふはさしこむりの地例とゆふにさし
左のいふはさしこむりの地例とゆふにさし
中書

中書

左 古を及む

右のいふはさしこむりの地例とゆふにさし
中書

左のいふはさしこむりの地例とゆふにさし
中書

中書

左 古を及む

右のいふはさしこむりの地例とゆふにさし
中書

ちんげん... ちんげん... ちんげん...

廿六番

左 ちんげん

ちんげん... ちんげん... ちんげん...

左

ちんげん

ちんげん... ちんげん... ちんげん... ちんげん... ちんげん...

廿七番

左 ちんげん

ちんげん... ちんげん... ちんげん...

左

ちんげん... ちんげん... ちんげん... ちんげん... ちんげん...

廿八番

左 ちんげん

ちんげん... ちんげん... ちんげん...

左

ちんげん... ちんげん... ちんげん... ちんげん...

廿九番

左 ちんげん

ちんげん... ちんげん... ちんげん...

左

ちんげん... ちんげん... ちんげん... ちんげん...

サ九毒

丸 女寺鐘

きんりの有るころころはのころころはきんりの

丸

きんりの有るころころはのころころはきんりの
丸 女寺鐘 の鐘をうらむと
念だのももまははまの悲業不浄才二才二句
のつぎさるころころはのころころはきんりの
ころころのころころはのころころはきんりの
ねぼの腫下りころころはのころころはきんりの
いのちのころころはのころころはきんりの

サ九毒

丸 女寺鐘

きんりの有るころころはのころころはきんりの

丸

丸 女寺鐘 の鐘をうらむと
念だのももまははまの悲業不浄才二才二句
のつぎさるころころはのころころはきんりの
ころころのころころはのころころはきんりの
ねぼの腫下りころころはのころころはきんりの
いのちのころころはのころころはきんりの

丸 女寺鐘